

LIFELEX
ランチジャー 620ml KHH05-8593

▲ 使用上のご注意

- 本来の用途以外には使用しないでください。
- 乳幼児の手の届くところには置かないでください。また、いたずらには十分注意してください。(ヤケド、ケガなどの恐れがあります。)
- 必ず各容器をセットした状態でご使用ください。また、各容器のフタは確実に閉めてください。漏れて、ヤケドやものを汚す原因になります。
- 保温ケースフタの止め具は、無理に折り曲げたり折ったりしないでください。破損の原因になります。
- 高温になる場所や、直射日光の当たる場所、コンロ、ストーブなど火気の近くに置くと、軟化や変形することがありますので置かないでください。
- ごはんやおかず類を長時間保存しないでください。(変質や腐敗の恐れがありますので、6時間以内を目安に必ず食べきってください。)
- 生ものや乳製品は、変質や腐敗の恐れがありますので入れないでください。
- おかず容器は汁モレしにくい構造ですが、開め方が弱かったり、汁気の多い食品を入れた場合、汁モレを起こすことがありますので、容器を横倒しにしないでください。
- ランチジャーを持ち運ぶ場合は、各容器をセットした状態で保温ケースフタが上になるように保温ケースを持って持ち運んでください。
- 落としたり、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。(破損やサビ、保温性能低下の原因になります。)
- 塩素系漂白剤、シンナー、ベンジン、金属タワシ、みがき粉、クレンザー類は使用しないでください。(キズや、サビ、故障

- の原因になる恐れがあります。)
- 長時間熱湯に浸けたり煮沸すると、変形する場合がありますのでお避けください。
- 色の濃い食品はレンジ加熱で高温になった場合、容器に色が移る場合があります。
- 保温ケースに食品を直接入れないでください。
- ごはん容器、おかず容器は電子レンジが使用できます。保温ケースは電子レンジに入れしないでください。電子レンジが故障する原因になります。
- ごはん容器・おかず容器にスープ類は入れないでください。
- 直火、オープン及びグリルでは使用できません。
- おかず容器も保温されます。冷やして召し上がる食品は一緒に入れないでください。
- においの強いものや色素の濃いおかず類はにおいが付いたり、色素が染み込み変色の原因になりますので、アルミホイル等に包んで入れてください。
- 直射日光の当たる場所や、高温になる車内等に置かれますと内容物が腐敗する原因になります。外気温が低い場所に置かれますと保温効果も低下します。
- 夏場は特におかずが傷みやすくなりますので、ご注意ください。
- 長時間使用しない場合は、汚れ等をきれいに洗い落とし、早めに水気を拭き取り乾燥させてから保管してください。
- おかずはおかず容器に入れてください。ごはんは直接具材を乗せると汁モレします。
- 食べる際はおかず容器の底に水滴やごはんが付いているのでご注意ください。
- 保温効力の下がったものは使用を中止してください。

【品質表示】

品名	ランチジャー 0.62ℓ		
容量	おかず容器: 0.31ℓ ごはん容器: 0.31ℓ		
保温効力 ^{※1}	42度以上(6時間)		
	材料の種類	耐熱温度	耐冷温度
保温ケース	ステンレス鋼(アクリル樹脂塗装)	—	—
保温ケースフタ	ポリプロピレン(中材:発泡PP断熱材)	100℃	-20℃
止め具・リング	ポリプロピレン	110℃	-20℃
おかず容器本体	ポリプロピレン	140℃	-20℃
ごはん容器本体	ポリプロピレン	140℃	-20℃
おかず容器フタ	シリコンゴム	180℃	-40℃

※1:保温効力とは、室温20度において、保温ケースにセットしたごはん容器に熱湯を310mlまで満たし、空のおかず容器を入れた状態で湯温が95度の時から6時間放置した場合におけるその湯の温度です。(JIS S 2006:1994 9.4準用) ご使用においてはごはんの量やおかず容器の内容物の量や温度、外気温の影響により、上記の保温効力の数値とは異なります。
※製品改良のため、予告なく製品の仕様を変更する事があります。ご了承ください。 ※製写真等は印刷のため、多少色が異なる場合があります。

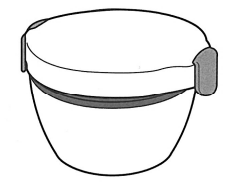
LOT No. _____
販売元
コーナン商事株式会社
大阪府大阪市淀川区西宮南2丁目2番17号
MADE IN CHINA 20JS-N0V



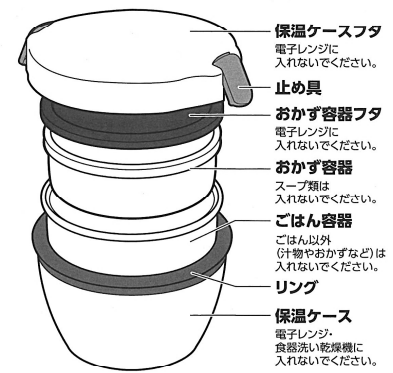
■商品サイズ
145W×138D×110H (mm)
※記載の寸法は、各容器をセットした状態での商品の最大寸法を表示しています。

この度は、ランチジャー 620mlをお買い上げいただき、ありがとうございます。※ご使用前に必ずお読みください。お読みになった後も、この説明書はいづも取り出せる場所に保管してください。

各部の名称と説明



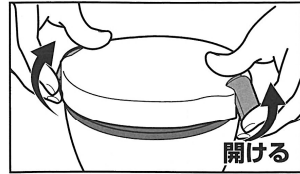
各容器をセットした状態



ご使用方法

ご使用前に右記の「お手入れ方法とご注意」を確認の上、各容器を中性洗剤を薄めた液を使い、よく洗ってからお使いください。

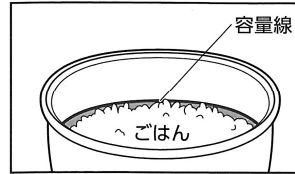
- 1) 内容器を取り出してください。
●下記図のように止め具の下部に指をかけ、上方向へ持ち上げると保温ケースフタが開きます。



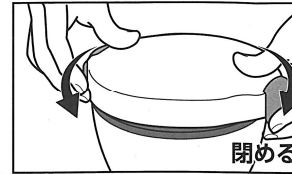
- 2) 保温効果を高める為、保温ケースとごはん容器に熱湯を少量入れ、1~2分温めます。
●温まりましたら、お湯を捨て、水分を十分に拭き取ってください。
※ヤケドなどしないよう熱湯の取り扱いにはご注意ください。

- 3) おかず容器に熱いおかずを入れ、フタをしっかりと閉めてください。
※おかず容器も保温されます。冷やして召し上がる食品は一緒に入れないでください。スープ類は入れないでください。

- 4) ごはん容器の内側の線まで、炊きたて、または、電子レンジで温めた熱いごはんを入れてください。
※ごはん容器にごはん以外(汁物やおかずなど)は入れないでください。
※少量ですと、保温効果が下がる場合があります。
※ごはんの入れすぎにはご注意ください。フタが確実に閉まらない場合があります。
※より温かくお召し上がりいただくために、ごはんは炊きたて、保温中に関わらずお出かけ前にごはん容器に入れて電子レンジで温めることをおすすめします。



- 5) 保温ケースにごはん容器→おかず容器の順に入れ、保温ケースフタを閉めます。左右の止め具をカチッと音がするまでしっかりと閉めてください。ごはんの上におかず容器がおかず容器が直接乗りますので、おかず容器底面の汚れを除いてください。



【おかず容器・ごはん容器の電子レンジ使用について】

- おかず容器・ごはん容器以外は、電子レンジで使用できません。
- 保温ケースは電子レンジで使用できません。
- 空焚きはしないでください。
- おかず容器はフタを外してご使用ください。
- ごはん容器は保温ケースから取り出してご使用ください。
- 水分の少ない食品への加熱は、時間を短くしてください。
- 調理時の食品の量が少ない場合、加熱時間を短くしてください。
- 油分の多い食品への加熱は避けてください。
- 耐熱・耐冷温度の範囲外での使用は避けください。



お手入れ方法とご注意

においやカビを防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は下記表を参考に、必ずお手入れをしてください。

ごはん容器	・食器洗い乾燥機で洗えます。 ・手洗いの場合、中性洗剤を薄めた液を使い、スポンジなど柔らかいもので洗い、よくすすいだ後、乾いた布で水気を拭き取って十分に乾燥させてください。
おかず容器	・食器洗い乾燥機で洗えます。 ・手洗いの場合、中性洗剤を薄めた液を使い、スポンジなど柔らかいもので洗い、よくすすいだ後、乾いた布で水気を拭き取って十分に乾燥させてください。 ・においや色の強いものを直接入れると、においや色が容器に付く場合があります。 ・汚れのひどいとき、においを取りたいときは、漂白剤を薄めたお湯に浸してください。また、タワシやクレンザーなどのご使用は、キズがはいる原因となりますのでお避けください。
おかず容器フタ	・食器洗い乾燥機で洗えます。手洗いの場合、中性洗剤を薄めた液を使い、スポンジなど柔らかいもので洗い、よくすすいだ後、乾いた布で水気を拭き取って十分に乾燥させてください。 ・汚れのひどいとき、においを取りたいときは、漂白剤を薄めたお湯に浸してください。また、タワシやクレンザーなどのご使用は、キズがはいる原因となりますのでお避けください。 ・表面に白い粉状のものが出てくる場合がありますが、使用上の支障はありません。水洗いによって除去できます。

保温ケースフタ	・食器洗い乾燥機で洗えます。 ・手洗いの場合、中性洗剤を薄めた液を使い、スポンジなど柔らかいもので洗い、よくすすいだ後、乾いた布で水気を拭き取って十分に乾燥させてください。 ・タワシやクレンザーなどのご使用は、キズがはいる原因となりますのでお避けください。
保温ケース	・食器洗い乾燥機は使用しないでください。 ・煮沸や漂白剤でのお手入れはお避けください。 ・中性洗剤を薄めた液を使い、スポンジなど柔らかいもので洗い、乾いた布で水気を拭き取ってください。

■食器洗い乾燥機を使用する場合のご注意

- 業務用食器洗い乾燥機のご使用はしないでください。
- 食器洗い乾燥機の表示及び取り扱い説明書を確認してから、ご使用ください。
- 変形する恐れがありますので、上に重たいものを乗せたり、重ね置きしないでください。
- 発煙等の原因となりますので、本品を食器洗い乾燥機のヒーターや吹き出し口付近に置いたり、落とさないようにしてください。